

米「60億ドル超」科学イニシアチブの実態と日米比較

米国「一元統合ミッション」

60億ドル超

官民総動員パッケージ

全額が新規連邦予算ではなく
民間現物や既存資産を含む

Genesisプラットフォームへ集約

AI・データ・
実験設備を統合

科学データと自律ラボを
統一、仮説検証から実験まで
のワークフローを自動化

明確な成果KPI:
量子ビット数や
博士10万人等の
数値目標

民間AI 計算資源・ツール



24.00億ドル

NVIDIA, AMD, OpenAI等の
計算クレジット(現物)
連邦予算の直接支出ではなく、
企業提供の計算クレジット等を
活用する構造

Virtual Biology Initiative 18.00億ドル



18.00億ドル

Biohub, DOE予算,
NIH過去投資データ,
民間投資の複合

Georgia 地域投資



10.00億ドル

州政府、大学、民間企業
による共同地域投資

10億ドル規模のGenesis 協力パートナーシップ

単なる競争関係にとどまらず、共同研究や
計算基盤の相互利用に向けた連携が進行中

日本の「府省分立型支援」



省庁・基金ごとの縦割りが目立つ



研究者層への広範な普及に強み:
SPReAD等で裾野を拡大

